



プラザ使用者合同懇談会（サークル長会）を開催しました

2月22日月曜日、サークル長会を開催いたしました。急な開催ではありましたが、お忙しいところ大勢お集まりいただき、ありがとうございました。

日頃からおおむね丁寧にお使いいただいておりますが、新体制で1年経過する中で、気がついたことなどお話をさせていただきました。特に火気の取り扱い、戸締りについてはくれぐれもご注意ください。各サークルとも気持ちよくご使用していただけるよう、プラザスタッフも尽力いたしますが、みなさまのご協力をお願いいたします。

プラザに備え付けてあります「ご利用のしおり」も内容が実態と合わなくなっている部分もあるので、少し内容を改めました。今回出席いただいた代表者の皆さまにお配りしましたが、プラザのカウンターにもおいてありますのでご覧ください。基本的なことは変更はありませんが、改めて確認していただくとありがたいです。

なお、今後年に一度この時期に定期的で開催していきたいと思っております。会の名称ですが、公民分館のサークル長会などとの混同を避けるため、「プラザ使用者合同懇談会」といたします。



サークルミニ情報

このコーナーでは、各サークルのみなさんからのお知らせを掲載します。掲載ご希望のサークルは、プラザまでご連絡ください。
(TEL 246-3783)

ふれあいハーモニカ愛好者募集

初めてでも簡単にふけるハーモニカ ♪ 腹式呼吸だから健康に良いハーモニカ ♪ ポケットに入り気軽に運べるハーモニカ ♪ 伴奏を入れながらメロディをふけるハーモニカ ♪ 生涯学習に最適なハーモニカにあなたも挑戦してみませんか？ 初心者の方、久しぶりの方、楽しくふれあいましょう！

開催日時 4月14日（水）午前10時～ **場所** 旭ヶ丘ふれあいプラザ研修室
持ち物 お手持ちのある方はハーモニカ（C調） ハーモニカのない方も結構です
講師 ハーモニカ振興会指導員 真島一郎先生



2月9日火曜日。週末に降った大雪も融けやらぬまま雨になったこの日、光ヶ丘女性学級の皆さんが三々五々やってこられた。今日は涌井美代先生をお招きして、ひな祭りのお料理を作る。「雛寿司にアサリのすまし汁に苺大福」という聞いただけでわくわくするようなお献立。でも、「雛寿司」ってどんなのだろう？ 漠然とした疑問を抱きつつ、鯉だしのいいにおいに包まれていると、先生が事務室にこられた。「ちょっと、今とってもいい具合になってるから、見て見て」館長、佐藤指導員に続いて覗きに行くと、黄色い薄焼き卵の衣装をまとったお内裏様がずらりと並んでいた。男雛は青海苔の烏帽子にキュウリの杓、女雛は桜デンプの冠ににんじんの扇で色鮮やか。菜の花のおひたしと苺に囲まれて、食べるのがもったいない！ じっと覗き込んでいると、「あんまりよく見ないでね」背後から声が。いえいえよくできていますよ。ちなみにつまみ食いはしませんから、ご安心を(^_^)

「苺大福は二十分でできるから、“今から行くよ”って電話もらってから作っても間に合いますよ」と、先生のアドバイス。「わざわざお菓子買いに行かなくても、手軽にできますから、ぜひ作ってみて」果たしてそのお味は……。そんなお手軽なものとは思えない本格的な和菓子に仕上がっていた。

すこやかさんのコーナー

1年生と……



今月は旭ヶ丘小学校1年生と交流しました。例年3年生とは交流していますが、1年生とはどんな交流になるのやら……。

愛組の巻 2月10日水曜日。朝から小雨模様。1年愛組のみんながやってきました。まずは自己紹介。みんなの手には「巻物」が。そこには、節分のときに退治した「自分の中の鬼」が書かれていました。「怒りんぼうの自分」「泣き虫の自分」など、めいめいやっつけたんですね。合唱と合奏を聞かせていただいてから、「誕生日チェーン」が始まりました。言葉を使わずに1月から誕生日順に並んで輪になろうというもの。めいめいジュスチャーで自分の誕生日を伝え、同じ月同志まとまったら、早い順から並んでいきます。見事に愛組とすこやかさんの大きな輪ができました。

敬組の巻 2月17日水曜日、曇。元気な1年敬組のみんながやってきました。自己紹介の後、敬組から歌と合奏の披露。むずかしい歌を上手に歌っていて、びっくりしました。敬組さんとも「誕生日チェーン」を作りました。すこやかさんも愛組さんのときとは違うメンバーの方もいらっしゃるの、ぜんぜん違う輪ができました。敬組さんには12月31日生まれの人がいて、目印になってくれました。

「みなさんから元気をもらいました」とすこやかさん。1年生との交流ですこやかさんのみなさんは3年生とはまた違うパワーをもらったみたいです。ありがとうございました。また来てください。

編集後記 ~ふれEYE

千体の雛人形、見に行ってきました。あれだけそろうと圧巻です(*_*)人形には魂が宿ることがあるといいますが、それにしてもあの迫力はどこから来るのでしょうか？ 多分千体という数ばかりではなく、それぞれのお雛様に女の子の健やかな成長を願った親御さんの気持ちがこもっているからなのですね。

(北原)